

令和元年 8 月 6 日

恵庭市公営企業経営審議会
会長 宇野 二 朗 様

恵庭市公営企業
恵庭市長 原 田 裕



恵庭市水道ビジョン及び恵庭市水道事業経営戦略の改定について（諮問）

本市では、これまで国の「水道ビジョン」に基づき、平成 24 年 4 月に「恵庭市水道ビジョン」を策定し、市民のために「清浄にして豊富低廉な水の供給を図る」ことを基本理念として、「安心」「安定」「持続」「環境」の四つの基本施策により事業を推進しています。また、将来の投資・財政計画に基づき、平成 27 年 4 月には「恵庭市水道事業経営戦略」を策定し、中長期的に安定した水道事業の運営を図っています。

しかしながら、「恵庭市水道ビジョン」の策定から 7 年、「恵庭市水道事業経営戦略」の策定から 4 年が経過し、その間、国による「新水道ビジョン」の公表や恵庭市人口ビジョンの策定、第 5 期恵庭市総合計画の策定、老朽施設の増加に伴う更新需要の増大、北海道胆振東部地震等の災害対策、水源の 2 系統化等、水道事業を取り巻く事業環境が著しく変化し新たな課題が生じています。

水道事業は、いかに厳しい経営環境であっても、清浄にして豊富低廉な水を供給し続ける使命があります。内部改革による費用節減や事業の見直しにとどまらず、広い視野に立って長期的な展望のもと適正な事業経営を計画的、かつ効率的に実施しなければなりません。

このことから平成 30 年度には、内閣府の補助事業を活用して水道事業の現況を分析し、財政面の将来予測等を行った結果をもとに、今後も経営改善に向けて検討していきます。

このような背景の中、本年度は、これらの結果や国の「新水道事業ビジョン」の政策課題である「安全」「強靱」「持続」の観点を踏まえ、「恵庭市水道ビジョン」と「恵庭市水道事業経営戦略」の改定を予定しています。つきましては、改定に当たり、貴審議会の専門的知見並びに消費者視点等を踏まえ、下記の事項について、ご審議くださいますよう諮問いたします。

記

諮問事項 「恵庭市水道ビジョン及び恵庭市水道事業経営戦略の改定について」